



特集 — 防犯隊の活動に迫る

わたしたちのまち、わたしたちで守ろう！



防犯隊の活動 広く知ってほしい



小浜市防犯隊
第13支隊 支隊長
きょうたに ひろこ
京谷 宏子 さん
(60歳・雲浜二丁目)

隊員は、年齢も地区もバラバラな女性のみで構成されており、現在は10人で活動しています。私が加入してから、本年度で4年目を迎え、2年前からは支隊長に任命されています。

知人に誘われ、楽しそうな活動だなと、軽い気持ちで加入したのがきっかけです。

入隊したときには、隊員のほとんどが新人で、どのような活動をすればいいのか、手探りの状態だったことを覚えています。そのような中、広報活動に経験がある隊員の助力もあり、3年前からは、

防犯思想の普及啓発とともに防犯隊のPR活動にも取り組んでいます。

60年にわたって防犯活動を続けている防犯隊ですが、活動をはじめから、その知名度の低さに驚きました。その一方で、隊長や副隊長をはじめ、各支隊長と話をすると、皆さんが一樣に市民や防犯隊に対する熱い思いを語ってくれたことが印象的でした。

今回の特集で活動のすべてを紹介することはできませんが、少しでも小浜市防犯隊について知ってほしいと思います。



問い合わせ 生活安全課 ☎64・6007



上段左：防犯だけでなく防災にも役立つ「防犯防災体験学習」を実施／上段右：女性のための女性による「護身術講座」で小浜警察署の女性警察官らが参加者を指導

中段左・中：防犯意識の高揚を目的に宮川ふるさとまつりや暮らしの講演会で「防犯パトロールの歌」を踊り付きで披露／中段右：青色回転灯を装着した車両で夜間パトロールを実施

下段左・右：夏期特別パトロールとして市内の公共女子トイレの一斉防犯検査を実施

皆さん、本市には「小浜市防犯隊」という防犯組織があることを知っていますか。

小浜市防犯隊は、犯罪の増加、青少年非行の増加を背景に、防犯思想の普及と犯罪予防活動の中核組織として、昭和30年6月に発足。当時の隊員は消防団員の中から選出され、隊などの編成も消防団と同じくして運営されてきました。

しかし、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、防犯隊と消防団との兼務体制の見直しと近隣町村防犯隊との応援協定による広域体制の確保が図られ、9年には消防団と分離して独立しました。

独立当初は、隊長・副隊長の下に10の分隊で組織されていましたが、11年4月に現在の行政区ごとに12の分隊に分かれ、12年4月に分隊の名称が支隊に変更。16年4月には、新たに女性だけで組織された支隊が発足しました。

現在は、隊長・副隊長の下に、地区ごとに12の支隊と女性のみで構成された支隊、合わせて13の支隊で活動しています。

小浜市防犯隊の第13支隊って？

小浜市防犯隊第13支隊は女性だけで構成された部隊です。

平成15年度まで、防犯隊には女性隊員が在籍していませんでした。当時、市では男女共同参画の実現に向けた取り組みを推し進めており、防犯隊においても、女性の活躍を求める声が上がったことから、16年度に女性支隊が発足しました。

今回の特集では、第13支隊と防犯隊の活動について紹介していきます。



小浜市防犯隊は、治安を確保し、市民生活の安定を図ることを目的に、防犯思想の普及徹底と犯罪予防などの活動をしています。

任務内容は、警察の行う防犯の普及指導や青少年の非行防止、犯罪抑止活動に協力すること、となっており、任務の遂行には、小浜警察署と密接な連携を図り、市内の諸状況に応じて行っています。

通常の活動は、青色回転灯装着車両でのパトロールや犯罪予防のための広報啓発活動を行っています。

その他にも、年に2回、出動式を実施して隊員の士気を高めるとともに、県や若狭地区で開催する式典を通して、他市町の防犯隊との連携を図っています。

『安全・安心に暮らせるまち』を目指して活動しています



若狭地区4市町の防犯隊員が集う若狭地区防犯隊連合会錬成会を開催。研修や訓練を実施し、心身・技術の鍛錬を重ねる



支隊ごとに分かれて、青色回転灯を装着した車両でパトロール活動を実施。写真は訓練時の様子



子どもや女性を犯罪から守る活動の一環として、市内量販店で啓発チラシを配布



毎年2回、春季と年末に出動式を開催。防犯隊員を一堂に集めて実施することで、隊員の士気を高め、さらなる犯罪の予防を目指す



小浜市防犯隊年末警戒出陣

ワンポイント

防犯アドバイス (📢)

一人暮らしの場合

- ▼訪問者の対応は、ドアを開けずに、インターフォンやドアチェーン越しに行う
 - ▼女性の場合、窓際は一目で女性の一人暮らしと分かるようなカーテンや飾りにしない
 - ▼夜間、就寝する際には、2階以上でも、窓を閉めて鍵をかける
 - ▼個人情報や書類が漏れないように、郵便物はシュレッダーにかけてから、ごみに出す
- 外出する場合**
- ▼周囲から見えにくい場所や通路は通らない
 - ▼歩きながらの携帯電話・スマートフォンの使用は避ける
 - ▼深夜のコンビニは目をつけられやすいので、帰り道は細心の注意を払う

自分だけは大丈夫という思い込みは捨てて、自分を守るテクニックを身に付けましょう

隊長



森田 稔さん (59歳・甲ヶ崎)

次は副隊長の2人



- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊して9年になります。隊長としては1年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 各地区から一人が就任することになっており、隊員から誘われたからです
- Q. 印象的だったことは？**
A. 3年前に行方不明者の捜索活動が年間で5件と、非常に多かったことです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 各支隊と隊長・副隊長がしっかりとコミュニケーションを取りながら、若い隊員たちとともに活気ある活動をしていきたいです

隊長と副隊長にインタビュー



- Q. 隊長として心掛けることは？**
A. 強制的な言動を慎み、模範的な行動を示すことです
- Q. 活動を通して感じたことは？**
A. 地区の決まりとして、誘われて入隊しましたが、いろいろな人のつながりがあり、特に市民の防犯に対して真剣に取り組んでいる人との出会いがあったことで、隊員として何ができるかを考えるようになりました
- Q. 今後の抱負は？**
A. 各支隊と隊長・副隊長がしっかりとコミュニケーションを取りながら、若い隊員たちとともに活気ある活動をしていきたいです

副隊長



内藤 仁等志さん (54歳・住吉)

- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊12年目、副隊長としては2年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 小学校のPTA活動の一環で、勧誘されました
- Q. 隊への思いは？**
A. 市民がより良い生活ができるよう、防犯隊が犯罪の抑止力になればいいと思っています
- Q. 活動してきて良かったことは？**
A. 行方不明者の捜索活動を行ったときに、無事に発見して、解決できたことです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 隊員とのコミュニケーションを重視し、市民が少しでも安全に暮らしていけるよう頑張っていきたいです

副隊長



岡 登志郎さん (52歳・上田)

- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊10年目、副隊長としては1年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 地区で決めた順番で持ち回りです
- Q. 隊への思いは？**
A. 市民ができる市民による防犯活動であり、防犯意識の高揚のために大事な仕事です
- Q. 活動してきて良かったことは？**
A. 平成25年の台風18号のとき、2日間で約400名の雨が降り続き、消防団員だけでは人手が足りない中で、防犯隊員が一丸となり防災活動に協力できたことがうれしかったです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 防犯隊は大事な仲間なので、良質な人間関係を築いていきたいです

松崎市長新春インタビュー「小浜を研ぐ！笑顔あふれるまちに」

福井しあわせ元気国体・元気大会に沸き、早期開業を目指す北陸新幹線や、歴史と伝統ある「食」を生かしたまちづくりに取り組んだ平成30年。そして未来へのさらなる飛躍を、松崎市長が語る――

市長 私は就任3期目の公約として「小浜を研ぐ」を掲げ、①産業をみがぐ、②観光をみがぐ、③文化・教育をみがぐ、④生活をみがぐ、⑤行政をみがぐの実現ため、各種施策を進めています。

「産業をみがぐ」について

市長 産業振興と雇用創出について、高水準の有効求人倍率が続く中、若者のUターン就職促進につなげるため、大学生やその親御さんを対象とした企業説明会などを実施します。

企業誘致について、これまで植物工場の誘致により、市内の雇用の確保・拡大を図ったところです。昨年からの春にかけても新たな工場が操業を開始し、2社で約40人の新規雇用を見込んでいます。

農業振興について、昨年は市内各地で地域農業の将来を見据えた話し合いが行われ、農地集約が進みました。今年は、飯盛地区の長年の悲願であった土地改良事業が開始される



JAXAの「宇宙日本食」に認証された「サバ醤油味付け缶詰」を試食

予定で、効率的で収益性の高い農業経営への転換が可能となることから、今後の事業発展に大きな期待をしているところです。

水産振興については、「鯖、復活」プロジェクトが順調に規模を拡大し、昨年は鯖街道で縁の深い京都の酒蔵で製造された酒かすをエサに混ぜて育てた「小浜よつぱらいサバ」として本格出荷を開始し、過去最多の出荷尾数を記録することができました。

昨年11月には、小浜水産高校の生徒が、「鯖街道を宇宙へ」をキャッチフレーズに手掛けた「サバ醤油味付け缶詰」

の児童数も306人と、本市最大規模の小学校となります。

「生活をみがぐ」について

市長 防災について、近年頻発している集中豪雨などから市民の生命・財産を守るため、早めの避難所開設や、雨水きよの整備を進めます。

空き家対策については、平成29年度から倒壊など著しく危険となるような「特定空家」に6件を認定し、2件は所有者により解体されており、残る4件についても、所有者などに対し、適正な管理を指導していきます。また、昨年4月から実施している老朽空家等の解体補助についても6件の申し込みがあり、順次解体を行っています。

詰」が、若狭高校海洋科学科に引き継がれ、12年もの年月をかけ、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の「宇宙日本食」に認証されました。高校生が開発した食品の認証は史上初の快挙であり、長年の努力が結実した、本当に素晴らしいことであると思っています。

農林水産業の発展には、新たな担い手の育成が重要です。市外から就農希望者を受け入れる「おばまアグリスクール」や、関係機関と連携し漁業者を育成する「水産力レッジ」、小中学生に農林水産業の魅力を伝える「総合学習プログラム」などを展開し、将来の担い手育成を支援しています。

内外海地区では、水産業の振興と地域活性化に向けて、旧田島小学校を改修した水産業活性化の拠点施設や、教育旅行の拡充など、地元住民による各集落の特色を生かした取り組みが進んでおり、本市としても成果につながるよう、今後も支援したいと考えています。

「観光をみがぐ」について

市長 本市では、北陸新幹線敦賀開業に向けたJR小浜駅前の環境整備の第

本市の高齢者人口は29年度にピークを迎え、ひとり暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯が増加しています。住み慣れた自宅で最後まで暮らしたいというニーズを踏まえ、デイサービスの定員の拡充を行ったほか、一つの事業所で介護サービスと医療サービスを一体的に管理し提供できる「看護小規模多機能型居宅介護」の創設に向けて準備を進めています。

「行政をみがぐ」について

市長 まちづくり協議会は、地域課題の解決や地域資源を生かした取り組みを行っていることから、地域の発展のために欠かせないものであり、本市もその活動を今後も支援していきたいと考えています。今後、協議会の活動の幅が更に広がるよう、公民館をコミュニティセンターに移行したいと考えており、学識経験者を含めた検討委員会を立ち上げて検討を進めています。

広域ごみ焼却施設については、若狭町以西の4市町で広域化による課題解決に取り組んでいます。建設用地の選定や、開発による周辺環境への影響調査を行っており、できるだけ早い施設



聞き手/坂口みゆき アナウンサー (チャンネルO・12月17日)

国体で感じた「オール小浜」の底力 まちづくりに生かす

れており、今後ゲートウェイ機能を向上させていきたいと考えています。

「文化・教育をみがぐ」について

市長 昨年5月、古くから港町として栄えた本市を象徴する文化遺産群が「北前船寄港地・船主集落」として日本遺産の認定を受け、平成27年に認定された「御食国若狭と鯖街道」に続き、県内唯一のダブル認定となりました。「食」に関わる2つの日本遺産を生かしたまちづくりを、食のまちづくりと結びつけ推進していきます。

東部4校が統合される「小浜美郷小学校」の開校に向けては、昨年9月末までにすべての工事が完成しました。敷地面積は約2万8800㎡、開校時



歴史と文化に裏打ちされた小浜の魅力が輝くまちへ

稼働を目指します。また、老朽化が進む若狭霊場の次期施設についても、小浜市・おおい町・高浜町の3市町で、施設整備に向けた検討を重ねているところです。



まちづくり協議会では、防災や世代間交流など、地域の課題解決に取り組む

今後の抱負は

市長 昨年開催された「福井しあわせ元気国体・元気大会」は、ボランティアや観戦に多くの市民が参加し、「オール小浜」の底力を痛感しました。このエネルギーを、市民一人ひとりが、今後のまちづくりに生かしていただきたいと期待しています。

平成から元号が改まる今年、小浜の歴史、文化に裏打ちされた資源をさらに引き上げ、小浜で育った子どもたちが帰りたいくなる、笑顔あふれる住みよいまちにしていきたいと思っています。

社会保険料控除

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料を社会保険料控除として算入する場合、支払額を証明する書類の提示が必要です。

領収書などが手元ない人には、各担当課で証明書を発行します。運転免許証などの身分証明書と印鑑を持参してください。※年金天引きされた税・保険料については、証明書を発行できません。年金の源泉徴収票で確認してください

■問い合わせ

【国民健康保険税】 税務課 ☎ 64・6004
 【後期高齢者医療保険料】 市民福祉課 ☎ 64・6018
 【介護保険料】 高齢・障がい者元気づけ課 ☎ 64・6014

国民年金保険料を社会保険料控除として算入する場合、国民年金保険料の「控除証明書」または「領収書」の添付が必要です。

控除証明書は、平成30年11月上旬に対象者に送付されています。同年10月1日以降12月31日までに、その年初めて納めた人については、2月に送付される予定です。※市役所で証明書の発行はできません

■問い合わせ

日本年金機構敦賀年金事務所
 ☎ 0770・23・9902



市県民税から住宅ローン控除

平成21年から30年までに入居し、所得税の住宅ローン控除の適用を受けた人については、所得税から控除しきれなかった額を翌年度分の市県民税から控除できます。この制度の適用を受けるためには、確定申告または年末

調整(初年度については税務署での確定申告)が必要になります。※平成19・20年の入居者は所得税のみの対象となります ※控除期間が経過した場合は、対象となりません

医療費控除の提出書類の簡略化

医療費の領収書を提出する代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。健康保険組合などが発行する「医療費のお知らせ」などの医療費通知を添付すると、明細の記入を省略することができます。 ※平成31年分の確定申告(平成32年度分の市県民税申告)までは、領収書の添付または提示によることもできます

※医療費通知とは、医療保険者が発行する医療費の額などを通知する書類で、次の事項が記載されたものをいいます

- ・被保険者などの氏名
- ・療養を受けた年月
- ・診療を受けた人
- ・療養を受けた病院など
- ・被保険者などが支払った医療費の額
- ・保険者などの名称

セルフメディケーション税制の申告について

平成30年度市県民税、29年分所得税から、セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)の申告が可能になりました。健康の増進および疾病の予防のために「一定の取組」を行った人が、スイッチOTC医薬品(要指導医薬品および一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品)を購入した場合、その年中の購入金額が1万2000円を超える額について、総所得金額等から控除する(上限8万8000円)税制です。



※一部の対象医薬品のパッケージには左記の認識マークが掲載されています

■注意事項

- ・通常の医療費控除とどちらか一方を選択して適用されます
- ・一度選択をすると、修正申告等で通常の医療費控除に変更することはできません
- ・「一定の取組」にかかる費用は控除の対象外です

■申告に必要な書類

- セルフメディケーション税制の明細書
領収書の添付は不要です。ただし、確定申告期限等から5年間は領収書の提示または提出が求められることがあります ※平成31年分の確定申告(32年度分の市県民税申告)までは、領収書の添付または提示によることもできます
 - 「一定の取組」を行ったことを明らかにする書類
 - ・インフルエンザ予防接種の領収書または予防接種済証
 - ・市のがん検診の領収書または結果通知表
 - ・職場で受けた定期健康診断の結果通知表
 - ・特定健康診査の領収書または結果通知表 など
- ※氏名、取り組みを行った年、保険者名や医療機関名などの記載があるものに限り
 ※結果通知表は結果部分を黒塗りまたは切り取りなどをして写しの提出でも差し支えありません

確定申告はお早めに！

平成31年度の市県民税、平成30年分所得税の確定申告の受け付けが始まります。必ず期限内の申告をお願いします。
 受付期間 2月18日(月)～3月15日(金) (土日を除く) 9時～12時、13時～16時
 問い合わせ 【市県民税】税務課 ☎ 64・6004 【所得税】小浜税務署 ☎ 52・1008

スケジュール

【市役所4階大会議室(大手町)会場】

受付期間	対象地区・区
2月18日(月) ～ 22日(金)	小浜(清滝/津島/多賀/鈴鹿/塩竈/生玉)、西津(小湊/大湊/北塩屋/西長町/北長町/福谷)、内外海(仏谷/堅海/泊/田島を除く)、国富、宮川
2月25日(月) ～ 3月1日(金)	小浜(玉前/今宮/広峰/白鬚/酒井/駅前町/川崎)、雲浜(南川町/後瀬町/上竹原/関)、松永、遠敷、今富
3月4日(月) ～ 8日(金)	小浜(竜田/住吉/日吉/神田/大宮/男山)、雲浜(千種/大手町/四谷町/一番町)、内外海(仏谷/堅海/泊/田島)、口名田、中名田、加斗
3月11日(月) ～ 15日(金)	小浜(鹿島/白鳥/貴船/浅間/大原/香取/飛鳥/青井)、雲浜(城内/雲浜/山手/水取)、西津(堀屋敷/板屋町/新小松原/下竹原/小松原川東/小松原川西)

【JA若狭本店(遠敷)会場】

受付日	対象地区
2月18日(月)	小浜、雲浜、西津、内外海
2月19日(火)	松永、宮川
2月21日(木)	国富
2月22日(金)	遠敷
2月25日(月)	今富
3月1日(金)	口名田、中名田
3月4日(月)	加斗

※混雑を避けるため、できるだけ指定された期間・期日にお越しください
 ※営業所得、事業所得、農業所得、不動産所得のある人については、「収支内訳書」を事前に作成してからお越しください
 ※ふるさと納税ワンストップ特例制度を申請した人が、市県民税または所得税の確定申告をした場合は、申告が優先されます。そのため、確定申告をする場合は必ず、ふるさと納税に伴う寄附金控除も申告してください
 ※青色申告、譲渡所得等(株式、不動産)、雑損控除、平成30年新築・増改築分の住宅ローン控除(1年目)を申告する場合は、税務署での申告・相談をお願いします



申告にはマイナンバーが必要です！！

社会保障・税番号(マイナンバー)制度導入により、申告手続きには、申告書等に申告者本人と扶養親族等のマイナンバーの記載と、申告者本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

マイナンバーの記載について

確定申告書等の提出の際には、申告者本人と対象となる控除対象配偶者・扶養親族・事業専従者のマイナンバーが分かるものを必ず持参してください。

本人確認書類の提示または写しの添付について

申告会場で申告者本人または代理人が申告する場合は、申告者本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

本人確認書類

- ◆マイナンバーカードを持っている人 → マイナンバーカード ※マイナンバーカードだけで、本人確認(番号確認と身元確認)が可能
- ◆マイナンバーカードを持っていない人 → 次の2点が必要

番号確認書類	身元確認書類
本人のマイナンバーを確認できる書類 ・マイナンバー通知カード ・マイナンバーの記載がある住民票の写し などのうちいずれか1つ	記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類 ・運転免許証 ・健康保険証 ・パスポート ・在留カード ・身体障害者手帳 などのうちいずれか1つ



新春の朝に心地よい汗流す

元日に白鳥海岸沿いなどを走る「元旦走ろう会」で約300人が走り初めを満喫（日吉・1月1日）

日本の文化を笑顔で体験

青池調理師専門学校日本語科に在籍するベトナム人留学生が餅つきで学生と交流（広峰・1月11日）



高校生初の偉業をたたえ表彰

JAXAの宇宙日本食に認証された「サバ醤油味付け缶詰」を開発した若狭高校生を表彰（市庁舎・12月28日）



拉致問題「風化させない」啓発に励む

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせ拉致被害者の地村保志さんが街頭啓発（四谷町・12月15日）



豊漁と区内安全を願い弓放つ

西小川区の伝統行事「弓打ち神事」でかみしも姿の射手が的に狙いを定める（西小川・1月1日）



焼失した玄白像を復刻し市に寄贈

金子誠さん（千葉県・写真右）が復刻し栄閑院（東京都）が所蔵する玄白像が市に寄贈される（大手町・12月15日）



特急「サンダーバード」が来浜

JR小浜線開業100周年を記念して関西の観光客を乗せた特急が臨時乗り入れ（小浜駅・12月15日）



区内の除災招福を願う

「六日講」で竜に見立てて稲わらで編んだ約12mの勧請綱を集落境に掛ける（法海・1月6日）



一年の活動へ決意新たに

若狭消防組合消防本部・若狭消防署・小浜消防団の職団員らによる出初式で一齐放水（香取・1月5日）

春の七草で無病息災を祈る

来館者に振る舞われた年始の伝統食「七草がゆ」を健康を願い笑顔で味わう（食文化館・1月6日）



軒先の柱たたいて福を呼び込む

伝統行事の「戸祝い」で家の戸口などを棒でたたいて家内安全・無病息災を祈る（新保・1月12日）



成人の自覚と責任胸に誓う

成人式で新成人318人を代表して久保翔さん（荒木）が誓いの言葉を述べる（文化会館・1月13日）



暮らしの情報

小浜市役所
〒917-8585 小浜市大手町 6-3
☎0770-53-1111(代)
FAX 0770-53-0742(代)
HP <https://www1.city.obama.fukui.jp/>

イベント

三丁町で空き家活用の研究発表

都市整備課

▼とき 2月2日①13時～16時

3日②10時～16時

▼ところ 蓬嶋楼(飛鳥)

▼内容 京都女子大学の学生が、三丁町の空き家活用をテーマに、県外の重要伝統的建造物群保存地区との比較検討を行い、研究した結果を発表

▼料金 無料

▼問い合わせ 同大学 ☎075・531・7168

若狭ウインドアンサンブル定期演奏会

文化会館 ☎53・9700

▼とき 2月24日①14時

▼ところ 文化会館(大手町)

▼内容 1部Ⅱシンフォニックステージ、2部Ⅱそれいけ音楽会・本

間千也さん(トランペット奏者)によるステージ、3部Ⅱポップスステージ

▼料金 無料

咲楽館講座発表会

働く婦人の家 ☎52・7002

働く婦人の家(咲楽館)では、本年度の講座発表会を開催します

▼とき 3月10日①9時30分～15時30分

▼ところ 働く婦人の家(大手町)

▼内容 各講座の展示・体験・発表・お茶会など

▼料金 入場無料(ただし、お茶券400円、和菓子づくり体験400円※ともに前売りのみ/ハーバリウムづくり体験800円※要事前申込、先着15人)

山川登美子企画展

文化課

福井県ふるさと文学館(福井市)で、小浜出身の歌人・山川登美子の特集した企画展が開催されます。

▼とき 1月26日①～4月7日②

【平日】9時～19時【土日祝】9時～18時※月曜日、祝日の翌日、第4木曜日は休館

▼内容 山川登美子と『明星』歌人展

▼料金 無料

▼問い合わせ 同館 ☎0776・8866

人権擁護委員の委嘱

生涯学習スポーツ課 ☎64・6033

平成31年1月1日付で、法務大臣から人権擁護委員の委嘱がありました。

▼再任 赤坂修代さん(国分)

仲井宗男さん(野代)

▼新任 田邊重正さん(小湊)

募集



旬の食材×ゆる薬膳。

農林水産課 ☎64・6023

市では、身近な食材で簡単にできる、薬膳の知恵を取り入れる料理セ

まちの駅「旭座」イベント情報

※2月・3月の予定の主なものをお知らせします

若狭小浜寄席～落語で楽しい街おこし!!～

▼とき 2月17日①14時30分～
▼出演 桂文福、桂ぼんば娘、笑福亭呂好(いずれも落語家)、伏見龍水(曲芸師)
▼料金 前売2,000円、当日2,500円
☎まちの駅 ☎52・2000

日本遺産女子大学

トークセッション「食を活かした永遠の美ツーリズム」

▼とき 2月28日①18時30分～
▼講師 本田勝之助さん(日本遺産プロデューサー)、和田愛さん(ミス日本協会理事)

ワークショップ『「永遠の美」の聖地八百比丘尼を食のまちづくりへ』

▼とき 3月7日①18時30分～
※いずれも無料、申込不要。男性も参加可能
☎文化課 ☎64・6034

お知らせ



職場の悩みごと無料相談会

商工観光課

解雇や賃金など、労使関係の悩みや困りごとについて、労働問題の専門家が相談に応じます。

▼とき 3月3日①13時30分～16時30分

▼ところ 敦賀市生涯学習センター(敦賀市)

▼問い合わせ 県労働委員会事務局 ☎0776・20・0597

※秘密厳守、申込不要

「お試し」のつもりが「定期購入」に

生活安全課

「ホームページなどで、『お試し』や『初回無料』と広告されていた健康食品や化粧品を申し込んだら、4回継続が条件の定期購入になっていた。2回目以降の代金が高額で支払えない。解約したい」といった、通信販売に関する相談が寄せられています。事業者に対し出たが解約できないなどのトラブルを避けるため、次のことを心がけましょう

○申込時には、契約期間、各回の代金・送料、支払総額などをしっかり確認する

○解約条件(解約や返品ができるか)



第7回成人大学講座

生涯学習スポーツ課 ☎64・6033

▼とき 2月9日①14時

▼ところ 中央公民館(大手町)

▼内容 「乳幼児のこころと絵本」
子どもの心の特徴や、絵本の読み聞かせをはじめとする子どもとのより良い関わり方について

を必ず確認する
○事業者とのトラブルで困ったら、すぐ相談する

▼相談窓口 消費生活相談室 ☎53・1140(相談専用電話)

おばま児童文学会「風夢」のおはなし会
とき 2月16日①11時～

■問い合わせ
市立図書館(白鬚)
☎52・1042



市立図書館 今月のイベント

節分イベント
お話し会&鬼のお面を
作って豆まきをしよう

とき 2月3日①10時30分～
対象 幼児～小学校低学年
※先着15人。参加無料、事前申込不要

しりつとしゃかんおはなしかい
とき 2月9日①
①10時30分～
②11時～
内容 ①0～2歳向け
②3歳以上向け

家庭教育講演会

生涯学習スポーツ課 ☎64・6033

▼とき 3月3日①13時30分～15時

▼ところ 中央公民館(大手町)

▼内容 「災害から子どもを守るために知ってほしいこと」
災害や、慣れない避難所生活でストレスを感じる子どもや母親のケアなどについて

▼講師 石丸悦子さん(赤十字講習指導員)

▼料金 無料

※託児あり、要事前申込(先着順)

交通災害共済の加入申込

生活安全課 ☎64・6007

▼受付開始 2月15日(金)

▼共済期間 4月1日～平成32年3月31日

※4月1日以降に申し込みをした場合は、その翌日から平成32年3月31日まで

▼共済掛金 1人500円

▼資格 市に住民登録をしている人
▼加入方法 生活安全課または福井銀行県内各支店へ、共済掛金と申込書を添えて提出

介護認定訪問調査員(非常勤)

- ▼職務 介護認定申請者の家庭などを訪問し、心身の状態や医療に関する項目の聞き取り調査
- ▼資格 介護支援専門員、保健師、看護師、社会福祉士などの資格を有する人または、福祉関係の実務経験3年以上を有する人で、普通自動車免許を有する人
- ▼募集 2人
- ▼雇用期間 4月1日～平成32年3月31日※期間更新の場合あり
- ▼勤務時間 週5日(週36時間45分)
- ▼勤務先 高齢・障がい者元氣支援課(庁舎内)
- ▼報酬 月額17万5100円
- ▼選考方法 書類審査、作文、面接
- ▼申込期限 2月28日(土)
- ▼申込方法 履歴書、ハローワークの紹介状、作文(課題Ⅱ高齢化社会に向けた対策について/800字程度)を高年齢・障がい者元氣支援課へ提出

コーディネーター(地域支え合い員)を募集します。

- ▼職務 高齢者を地域で支える体制支援(生活支援サービスのニーズ把握、担い手の発掘・育成、住民主体の高齢者の居場所づくりなど)
- ▼資格 普通自動車免許を有し、パソコン操作ができる人
- ▼募集 1人
- ▼雇用期間 4月1日～平成32年3月31日※期間更新の場合あり
- ▼勤務時間 週5日(週36時間45分)
- ▼勤務先 地域包括支援センター(南川町) ※健康管理センター内
- ▼報酬 月額18万5400円
- ▼選考方法 書類審査、作文、面接
- ▼申込期限 2月28日(土)
- ▼申込方法 履歴書、ハローワークの紹介状、作文(課題Ⅱ高齢化社会に向けた対策について/800字程度)を高年齢・障がい者元氣支援課へ提出

交通安全指導員兼消費生活相談員(非常勤)

- ▼雇用期間 4月1日～平成32年3月31日※期間更新の場合あり
- ▼勤務時間 週5日(週36時間45分)
- ▼勤務先 地域包括支援センター(南川町) ※健康管理センター内
- ▼報酬 月額18万5400円
- ▼選考方法 書類審査、作文、面接
- ▼申込期限 2月28日(土)
- ▼申込方法 資格証(写)、履歴書、ハローワークの紹介状、作文(課題Ⅱ高齢化社会に向けた対策について/400字程度)を地域包括支援センターへ提出
- ▼問い合わせ 地域包括支援センター ☎64・6015

学校給食調理員(非常勤)

- ▼選考方法 書類審査、作文、面接
- ▼申込期限 2月28日(土)
- ▼申込方法 所定の申込書(生活安全課に設置)、作文(800字程度)を生活安全課へ提出 ※作文の課題については問い合わせてください
- ▼募集 若干名
- ▼雇用期間 4月1日～平成32年3月31日
- ▼勤務時間 週5日(週31時間15分) ※短時間勤務を希望する人は問い合わせてください
- ▼休日 土・日・祝日、年末年始、8月(8月は勤務を要する日あり)
- ▼勤務先 市内小中学校
- ▼報酬 月額13万1000円 ※経験年数に応じて加算あり。8月の勤務は日額にて支給
- ▼選考方法 面接
- ▼申込期限 2月15日(金)
- ▼申込方法 所定の申込書をハローワークまたは教育総務課まで提出 ※申込書は同課またはハローワークに設置

生活支援コーディネーター(非常勤)

- ▼高齢・障がい者元氣支援課 ☎64・6014
- ▼事業概要 週1～2回、約80人の高齢者を対象者に、1食6500円の弁当(税込み、配達料、集金代などすべて含む)を配達する事業
- ▼要件 市内全域を対象に、管理栄養士による献立で、利用者に合わせた刻み食などに対応できること
- ▼募集期限 2月8日(金)
- ※選定は応募事業者のプレゼンなどにより選定委員会で決定 ※詳しくは問い合わせください

介護支援専門員(非常勤)

- ▼高齢・障がい者元氣支援課 ☎64・6014
- ▼職務 介護予防ケアプランの作成など
- ▼資格 介護支援専門員の資格と普通自動車免許を有し、パソコン操作ができる人
- ▼募集 1人

配食サービス事業者

- ▼高齢・障がい者元氣支援課 ☎64・6014
- ▼事業概要 週1～2回、約80人の高齢者を対象者に、1食6500円の弁当(税込み、配達料、集金代などすべて含む)を配達する事業
- ▼要件 市内全域を対象に、管理栄養士による献立で、利用者に合わせた刻み食などに対応できること
- ▼募集期限 2月8日(金)
- ※選定は応募事業者のプレゼンなどにより選定委員会で決定 ※詳しくは問い合わせください

春休み児童クラブ会員

- ▼子ども未来課 ☎64・6013
- ▼募集クラブ 各小学校区の児童クラブ
- ▼期間 各校の春休み期間中の毎月曜日～金曜日
- ※遠敷・国富・松永・宮川校区の児童については、3月18日(月)から利用できません
- ▼対象 春休み中、仕事などで保護者が家庭にいない市内小学生
- ▼料金 定額5000円(ひとり親家庭の人は3400円)
- ▼募集期限 2月15日(金)
- ▼申込方法 子ども未来課に設置の申請書を同課へ提出 ※クラブごとの受け入れ人数には限りがあります。詳しくは問い合わせください

健康・福祉

プレパパ&プレママ講座

- ▼健康管理センター ☎52・2222
- ▼妊娠編・出産編「胎児との絆をつくり、産む力を身につけよう」
- ▼とき・ところ 2月16日(土) 旭座 楽屋(白鬚)
- ▼育児編「ミュージックケアでリフレッシュ、育児を楽しむには」
- ▼とき・ところ 2月20日(水) 健康管理センター(南川町)
- ▼栄養編「妊娠中からのからだづくり」
- ▼とき・ところ 2月27日(水) 健康管理センター(南川町)
- ※いずれも10時～12時、参加無料

特定健診受診率向上事業用紙の提出期限

- ▼健康管理センター ☎52・2222
- 対象者でまだ用紙を提出していない人は、署名のうえ、県内の医療機関に提出をお願いします。
- ▼対象 平成30年10月下旬に診療情報提供書(ピンク色)が届いている人(40～74歳の市国保被保険者のうち定期的に診療を受けている人)
- ▼提出期限 2月28日(土)

スプレー缶・カセットボンベの廃棄方法を確認しましょう

■問い合わせ 環境衛生課 ☎64・6016

スプレー缶やカセットボンベをゴミに出すとき、中にガスが残っていると、ゴミ収集や処理をするときに引火・爆発するなど、重大な事故につながる恐れがあります。

廃棄方法を改めて確認し、事故防止に協力をお願いします。

ゴミ出し時の処理について

- ・中身を使いきり、穴を開けてからゴミに出してください。
- ・穴開け作業は、火の気がなく、風通しの良い屋外で行ってください。

分別について

- ・「アルミ」または「スチール」の表記があるもの → それぞれの指定袋へ
- ・素材が不明なもの → 「その他金物」の指定袋へ



「新幹線講座」で寄せられた皆さんの声を紹介!

■問い合わせ 北陸新幹線・総合交通推進室 ☎64・6067

市では、昨年11月23日(金・祝)に、働く婦人の家(大手町)で、新幹線を活かしたまちづくりを考える市民集会「新幹線講座」を開催しました。講座では、新幹線沿線のまちづくりの研究者や、新幹線停車駅前で事業を展開する事業者による講演と、講師を交えた意見交換会を行いました。意見交換会では活発な意見や議論が交わされ、講座終了後のアンケートでもさまざまな意見をいただきました。ここでは、その一部を紹介します。

アンケート項目①「新幹線を活かしたまちづくりに関する意見・提案」

- ・小浜開業を成功させるためにも、敦賀開業時に小浜がどんな存在感を出せるかが課題
- ・異業種間で交流を積極的に行うなど、お互いの得意分野を共有しながら考えていきたい
- ・住み暮らすまちが楽しいと最高だと思います。まちを良くしたいと考えられる催しなどでまちおこしをしてほしい

アンケート項目②「こんなまちになったらいいな」

- ・「小京都・小浜」と呼ばれ、京都とセットで足を運んでもらえるまち
- ・京阪神が通勤圏となることから若い世代が住みやすいまち
- ・小浜が本来持っている美しい自然や、美味しい食べ物、歴史的建造物などを活かしたまち

他にもさまざまなご意見や提案をいただきました。いただいたご意見や、講演の内容は、市公式ホームページで公開中です。【市HP】 <http://www1.city.obama.fukui.jp/category/page.asp?Page=4078>



勤務先 若狭消防署 (高浜分署)
 まえだ たくま
前田 拓馬 さん
 (22歳・北川)

信頼される消防士を目指して

若狭消防署で火災現場での消火活動や救急活動によって住民の安全を守る前田さん。幼いころから町中を走る消防車や消防士に漠然と憧れていたと言いつつ、「高校在学中、将来と真剣に向き合ったときに、地元で人の役に立つ仕事をしたいと考え、この職業を選びました」と振り返ります。昨春から配属された高浜分署には、17人が所属。最年少の前田さんは、「いろいろ教えてくれる先輩ばかり。勤務中は24時間生活を共にするので、全て吸収していきたい」と意気込みます。

「現場での活動には、普段からの車や資機材などの整備・点検が欠かせません。いつ出勤要請があっても冷静に対処できるように準備しています」「過酷な現場も少なくない」と語る前田さん。そんな中でも「日頃の訓練や経験を通して、少しずつですが、周りを見ながら考えて行動ができるようになってきました。今後は、より多くの知識や技術を身に付け、自分の役割をしっかりと果たすことで、住民や同僚から信頼される消防士になりたいです」と力強く話してくれました。

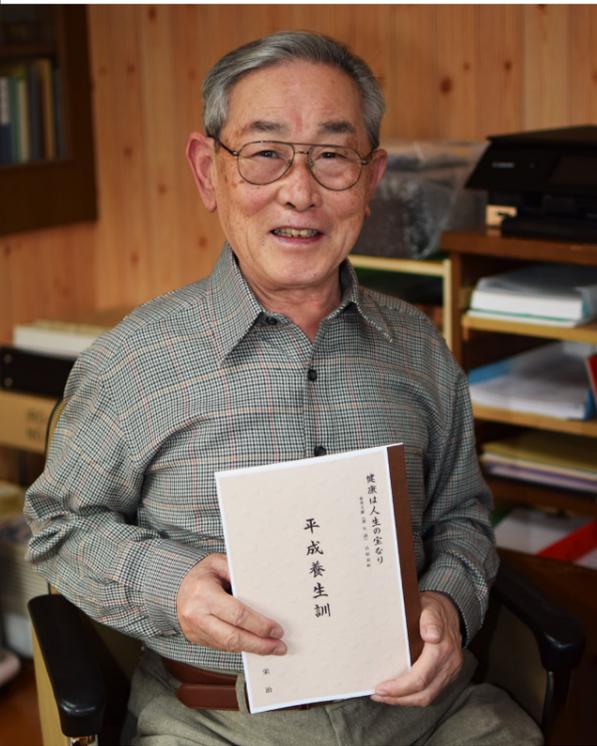


野球部 キャプテン
 おはら つねかず
小原 常和 くん
 (小浜中学校2年生)

感謝を忘れず全力でプレー

2年生6人、1年生13人が所属する小浜中学校野球部でキャプテンを務める小原くん。兄の影響もあり、小学2年生から地元の少年野球チームに所属し、競技に打ち込んできました。昨秋行われた若狭地区新人戦では、惜しくも予選リーグ敗退。「最上級生として初めての大会。敗れましたが、ベンチの盛り上げ方などプレー以外に学べたことも多い」と捉えます。「野球はチームプレーが重要なスポーツです。みんなで盛り上げて、チーム全体で成長していきたいです」

冬季に入りオフシーズンの現在、部では、基礎トレーニング中心の練習に励んでいます。「きついメニューも多いが、基礎体力をつけるためにも、部員が今できることに全力で取り組みたい」と春に備えて強化を図ります。部の目標である、「感謝できるチーム」を目指して、「全員が地域の人や先生、家族への感謝を忘れないようなチームにしていきたい」と語る小原くん。「キャプテンとしても、チームをしっかりとめて地区優勝を目指します」と元気に話してくれました。



文書工房てらもと 代表
 てらもと えいじ
寺本 栄治 さん
 (77歳・上中井)

「元気で100歳」を目標に

昨年、喜寿を迎えた寺本さんは、平成26年、江戸時代の儒学者・貝原益軒が記した健康の指南書『養生訓』を、現代風にアレンジし紹介する『平成養生訓』を執筆。近隣や公民館のほか、県内外からの問い合わせに応じて約200冊を発行しました。「6歳で大病を患い、医師から『20歳まで生きられない』と言われたほど、幼いころから体が弱かった」という寺本さん。読書好きが高じて益軒の『養生訓』に出会い、「みんなに元気で長生きする方法を知ってもらおう」と、

自分がお世話になった人たちに恩返しをしたい」と執筆を始めました。健康長寿の秘訣として、本で紹介している「常に頭を使い、過ぎた欲望は厳しく慎む」などのほか、「目標を持ち、そこに向かって努力することが大事」と語る寺本さん。「私も100歳まで健康に生きることを目標に、今後も規則正しい生活を続けていきたいです」と笑顔で語ってくれました。☎090・1635・0952まで。



弓道部 キャプテン
 うえま えいちか
上前 一華 さん
 (若狭東高校2年生)

仲間と切磋琢磨し上達重ねる

2年生8人、1年生8人が所属する若狭東高校弓道部。キャプテンを務める上前さんは、体験入部で先輩が弓を引く姿を見て、「とても格好良く、自分もそうなりたいたいと思って入部しました」と、弓道との出会いを語ります。上前さんをはじめ、部員はみんな、高校から弓道を始めたいわば初心者。互いに練習や試合で気づいたことをアドバイスし合って切磋琢磨した結果、昨年11月の新人戦では、女子団体が2位の好成績を収めました。

「みんな同じスタートだからこそ、上達を結果で実感できたときに、やりがいやうれしさを感じます」と話す上前さん。9月に秋季選手権に出場した際に、「自分が中てれば勝てる場面で、緊張から思うように実力を出せず、的外して負けてしまった」悔しさをバネに、見事雪辱を果たしました。今後の目標は「自分にとって最後の大会になる、夏の高校総体で優勝して、インターハイへ出場すること」と、意気込みを語ってくれました。

天満宮

昨年の12月、ホームステイに来ていたシンガポールの大学生2人を連れて、市内各地を案内して回る機会がありました。その際に訪れた中で、2人が一番感動していたのが、上野にある天満宮です。

谷あいにある杉林の風景と、その中に学問の神様が鎮座するという神秘さに、心打たれた様子でした。

この地域では、毎年12月25日に菅原道真公にちなんだ「天神講」が行われ、朝、子どもたちが習字を書き、天満宮に参り、学業成就を願います。

調べてみると、地方によっては日付が異なったり、カレイを食べる風習があったりするそうです。境内にたたずむ牛の像をなでるたび、子どものころにみんなが集まって参加した天神講を思い出します。



【アクセス】
 小浜市上野
 JR新平野駅から車で12分
 小浜ICから車で15分

【文と写真】
 地域おこし協力隊 オカモト



※次号では、小浜美郷小学校について紹介します

遠敷小学校



● 学校のあゆみ

明治6年 妙行寺の一角を借りて螢雪校として創立
 明治35年 螢雪尋常高等小学校と改称
 明治38年 遠敷尋常高等小学校と改称
 昭和22年 遠敷小学校と改称
 昭和28年 台風13号により大きな被害を受ける
 昭和42年 鉄筋コンクリートの3階建校舎が完成
 平成16年 創立100周年記念事業を実施
 平成20年 下根来小学校と統合

● 地区の紹介

遠敷地区は、市の東部に位置し、古くから奈良や京都と深い交流を持つ、歴史深い地域です。

若狭一の宮である若狭彦・姫神社や、伝統神事「お水送り」を執り行う神宮寺など、多数の名所古刹があるいにしへの里にして、古くは鯖街道や丹後街道が、現在は国道27号が通り、今も昔も交通の要所です。



● 学校の取り組み

遠敷小学校では、『未来への扉をひらく心豊かな遠敷の子』を学校目標に掲げ、仲間とともに学び合い、困難にねばり強く挑戦する子の育成を目指しています。

児童には、中学校や小浜美郷小学校に進んでも、「ふるさとの良い伝統を継承しつつ、新たな歴史を創る」存在になってほしいと考え、地域の人々との交流や体験活動を通して、頭・心・体をバランスよく鍛え、未来社会をたくましく生きる力を備える教育に取り組んでいます。

宮川小学校



● 学校のあゆみ

明治15年 前身の懐民小学校、必成小学校を創設
 明治34年 現在地に野木・宮川組合立尋常小学校を創立
 昭和22年 宮川小学校と改称
 昭和30年 小浜市立宮川小学校と改称
 昭和34年 伊勢湾台風により大きな被害を受ける
 昭和37年 鉄筋コンクリート3階建の新校舎が完成
 平成6年 本館校舎・体育館を大規模改修
 平成14年 創立100周年を記念しタイムカプセルを埋める

● 地区の紹介

市の最東部に位置する宮川地区は、三方を山に囲まれた田園地帯です。6つある集落には、豊作を願う「虫送り」や「オイケモノ神事」など、伝統行事が数多く残ります。

水田の一部を活用した広大なひまわり畑には、観光バスのルートに組み入れられるなど、地区の夏の風物詩として市内外から多くの観光客が訪れます。



● 学校の取り組み

宮川小学校では、『ふるさとに学び、ふるさとの未来を考えられる子の育成』という教育目標のもと、「豊かな関わりの中で自ら学ぶ子」の育成に向けて、自然学習や農業体験など、少人数学級の特性を生かした友だち・地域・教材との関わりが豊かな授業に取り組んでいます。

地域のさまざまな人と積極的に関わりを持つことで、中学校や小浜美郷小学校に進んでも、「わがふるさとを愛する子」に育つよう教育活動を展開しています。

健康生活のつづら

子宮がん検診を受けていますか？

がん検診

たくさんの方のメディアで「がん」が取り上げられるようになり、多くの女性が、がん検診を受けるようになってきています。一方で、まだ受診しなかった人が、最近はいずれいふん前に受けたが、最近では受けていないという人もいます。20代の人でも「子宮がん」に罹患することがあり、中には妊娠初期検査で異常が見つかることもあります。

きっかけを作って受診しましょう

がん検診は、無症状だとなかなか受けることがないのではないのでしょうか。市町がん検診（個別検診※個人で予約し、個別検診医療機関でがん検診を受診する検診のこと）では、20歳以上を対象に、子宮頸がんの検診を2年に1回受けることができます。特に症状がなくても、この通知を良い機会として、検診を受けてみてはどうでしょうか。

これ以外でも、20歳の誕生日や就職時、婚約時、子どもの入園・入学や進学時など、これからも健康に過ごしたいという人生の転換期にこそ受けても



杉田玄白記念 公立小浜病院
 ■問い合わせ 52・0990

産婦人科
 服部 由香 医師

「がん」を示しているわけではありませんが、正常な細胞と違う見え方をしているの、「一段進んだ検査を受けましょう」という意味を表しています。

「要精密検査」の結果であれば必ず次の検査を受診しましょう

集団検診や個別検診の結果（通知が「がん」を示しているわけではありませんが、正常な細胞と違う見え方をしているの、「一段進んだ検査を受けましょう」という意味を表しています。子宮がん検診は痛い検査ではありません。緊張して体がこわばることで痛みを感じてしまいますので、リラックスして検査に臨みましょう。



■子育て情報



親子運動遊び※

とき：1日(金)・15日(金)
10時～11時
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
子どもと一緒に体を動かして遊びます。親子でのふれあいを楽しみましょう

ベビーキッチン※

とき：8日(金)
9時30分～11時30分
ところ：食文化館
☎子育て支援センター
☎56・3386
親子でクッキングを楽しみましょう

作ってあそぼう※

とき：20日(水)
10時～11時
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
子育てマイスターとおもちゃを作って、楽しく遊びましょう

誕生会※

とき：27日(水)
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
今月に誕生日を迎えるお子さんのお祝いを楽しみましょう

スクスク元気っ子教室

とき：19日(水)
10時～10時30分受付
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
離乳食の試食や相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です

子育てワイワイ広場

とき：25日(月)
9時30分～12時
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
未入園児の親子に2階和室を開放しています。交流の場としてどうぞ

母乳育児相談

とき：25日(月)
11時～11時30分
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
助産師による相談です。10時～11時「断乳の話」あり(要テキスト代300円)

■体や心・生活の相談



エイズ・肝炎相談、検査

とき：4日(月)・18日(月)
9時～10時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300
匿名で、エイズ・肝炎に関する検査や相談(月～金)を受けることができます

精神保健相談※

とき：5日(火)、19日(火)
9時30分～11時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300
心の病気や、アルコール問題、認知症に関する相談に精神科医が応じます

こころの相談※

とき：毎週(水) 10時～16時
ところ：小浜市社会福祉協議会
☎同 ☎56・5800
とき：毎週(金) 12時～17時
ところ：つみきハウス
☎同 ☎53・1190
心の悩みを相談してください

心配ごと相談

とき：13日(水)
13時～16時
ところ：小浜市社会福祉協議会
☎同 ☎56・5802
介護など生活での困りごとの相談に応じます

人権相談

とき：19日(火)
13時～15時
ところ：働く婦人の家
☎法務局 ☎52-0238
悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください

カフェ・ぼ～れ

とき：14日(水)
13時30分～15時
ところ：花水木(鹿島)
☎坂上和代さん
☎090・5686・4147
認知症予防の活動や相談ができます ※参加費 100円

■法律や行政・その他の相談

相談名	開催日	時間	ところ	問い合わせ
弁護士無料相談※	5日(火)	13時30分～15時	働く婦人の家	福井弁護士会 ☎0776・23・5255
結婚相談	7日(水)、21日(水)	9時30分～11時30分	文化会館4階	子ども未来課 ☎64・6013
結婚相談(本人のみ)	23日(金)	13時30分～15時30分		
法律相談(消費生活トラブル)※	7日(水)、28日(水)	14時～16時	嶺南消費生活センター	☎52・7830
出張年金相談※	14日(水)、28日(水)	10時～12時、13時～15時	文化会館4階	敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
行政相談	19日(火)	13時30分～14時30分	市役所1階101会議室	市民協働課 ☎64・6009
高齢者専門相談(法律)※	21日(木)	13時～16時	嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター	☎52・7832

■今月の休館日

- 市立図書館
5日(火)・11日(月)祝・12日(火)・17日(日)・19日(火)・26日(火)・27日(水)
- 若狭図書学習センター
4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)
※28日(水)は2Fのみ休館
- 温水プール
28日(水)まで休館(更衣室などの床面補修工事のため。3月1日から再開予定)
- 市民サービスコーナー
11日(月)祝・17日(日)

■今月の休日当番医

- 3日(日)：★田中病院(遠敷10丁目)
☎56・5353
 - 10日(日)：★にし内科クリニック(南川町)
☎53・2407
 - 11日(月)祝：★本馬医院(水取一丁目)
☎52・2233
 - 17日(日)：いちせクリニック(南川町)
☎53・2415
 - 24日(日)：★小津外科医院(日吉)
☎52・0072
- ※★印のついた当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で小児科医が休日診療を行います

■今月の窓口

- 1階窓口延長
毎週金曜日(祝日・年末年始を除く)、市役所1階の窓口(市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課)では、執務時間を18時30分まで延長しています。
- 人の動き(1月1日現在)
・人口29,388人(前月比-10人)(前年同月比-355人)
・男性14,417人
・女性14,971人
・世帯数11,988世帯
・異動 転入49人 転出38人
・出生14人 死亡35人

au お得な情報をおとどけ！

facebook 「E-ニュースアップ」で検索

twitter @aushopobama

au ショップ小浜
☎0800-7002298

春までに免許取得！まだまだ間に合います！
地元学生限定！特別割引キャンペーン

小浜自動車学校

春からの新たな人生の飛躍へのお手伝い！

〒917-0023 小浜市府中14-23
☎0120-52-0839

濱の湯内「こりとり湯」にて 2月限定キャンペーン

こりとりお得コース

50分... 3,980円
70分... 5,980円

小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま
食文化館内
TEL0770-53-4126

瓦 雨どい シャッター など

▼建物修繕のご相談は▼

JA若狭 生活部 生活課
☎56-5024

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム

AIVIX
株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

安心と信頼 地元の石屋さん

お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

(有)杉田石材店

第2・第4土曜と毎週日曜、祝祭日は休業しています。
お電話での相談も承ります。
小浜市小浜広峰55
☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

タクシー電話受付時間変更のお知らせ

小浜地区タクシー業会では、1月1日より、電話受付時間を、従来の終日受付から、下記の通りに変更します。何卒、ご容赦いただきますようお願いいたします。
【受付時間】午前6時30分～翌日午前2時

小浜地区タクシー業会
三福タクシー株式会社 ☎52・1414
大和交通株式会社 ☎56・3333

編集後記

●元日は寒波による年末の雪空から一転、冬晴れの穏やかな朝を迎えました▶毎年元旦に走り初めを楽しむ「元旦走ろう会」の取材で目にしたのは、澄んだ空気を体感しながら心地よさそうに走るランナーたち▶私もその雰囲気につられて多少の高揚感を覚えながら、新年のスタートを切りました(竹)

●今月は裏表紙に掲載している空手の寒稽古を取材▶比較的温かい日でしたが、いざ海に足を踏み入ると、長靴を履いても寒い▶ときに腰まで海に浸かり、背筋を伸ばして稽古に励む子どもたちの姿に感心しきり▶私も子どもたちを見習って、何事にもまっすぐな気持ちで臨む1年にしたいです(池)



空手道寒稽古（白鳥海岸・1月13日）

視線は前へとまっすぐ伸ばす。

背筋をピンとまっすぐ伸ばす。

拳を突き出しまっすぐ伸ばす。

人生は、まっすぐで平坦な道ばかりじゃないけれど、
寒さに耐え、風にあらがい、みんながまっすぐ伸ばした拳は、
きっと未来の困難をはらう力になる。

市内のイベント情報は
観光協会公式サイトから



公式Facebookで
地域の情報を発信中

